

Numbering code	U-LAS06 10001 LJ41				
Course title <English>	日本国憲法 The Japanese Constitutional Law		Affiliated department, Job title, Name	Graduate School of Law Professor, DOI MASAKAZU	
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)	Jurisprudence, Politics and Economics(Foundations)	
Language	Japanese		Old group	Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture		Course offered year/period 2019・First semester
Day/period	Mon.2		Target year	All students	Eligible students For all majors

[Outline and Purpose of the Course]

本講義は、立憲主義の基礎理論及び日本国憲法の基本的原理について理解することを目的とする。具体的には、法哲学及び政治学などの理論にも言及しながら、国家、主権、憲法、法の支配、権力分立、個人の尊重・人間の尊厳及び基本的人権などの基本概念について考察し、日本国憲法の条文解釈及び憲法判例を学ぶ基礎を培う。

[Course Goals]

社会契約論及び功利主義などの理論に基づいて、なぜ人は国家を形成し、統治機構を構築し、憲法を定めるかについて説明できるようになる。

国民主権・民主主義、法の支配、権力分立など、統治機構の基本原則について理解し、その問題点について説明できるようになる。

個人の尊重・人間の尊厳について理解し、基本的人権、自由及び平等について考察できるようになる。

公共の福祉に基づく基本的人権の制約の合憲性を審査する基本的枠組みを理解し、具体的事例において活用できるようになる。

[Course Schedule and Contents]

第1回～第14回

- 1 国家の目的
- 2 国家権力
- 3 民主主義(1)
- 4 民主主義(2)
- 5 個人の尊重・人間の尊厳と基本的人権
- 6 立憲主義
- 7 国民主権と憲法の制定・改正
- 8 法の支配と権力分立
- 9 自由(1)
- 10 自由(2)
- 11 平等(1)
- 12 平等(2)
- 13 基本的人権の制約
- 14 基本的人権の制約

第15回 定期試験

第16回 フィードバック

Continue to 日本国憲法(2)

日本国憲法(2)

[Class requirement]

None

[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]

成績評価は定期試験の結果による。
定期試験は論述式問題を出題する。

[Textbook]

曾我部真裕・見平典（編）『古典で読む憲法』（有斐閣）ISBN:978-4-641-13185-9
上記教科書を補充するために、授業資料をKULASIS上で、適宜、配布する。

[Reference book, etc.]

（Reference book）

Introduced during class

[Regarding studies out of class (preparation and review)]

予習は、教科書の該当箇所を読み、適宜、出される予習課題を考えるようにすること。
復習は、講義を踏まえて、教科書や資料を読んで知識を整理すること。

[Others (office hour, etc.)]

質問等は講義終了後、またはメールにて日程調整の上研究室で受け付ける。